

編集趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
27-71	高等学校	家庭	家庭基礎	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
06 教図	家基 312	新家庭基礎 今を学び 未来を描き 暮らしをつくる		

1. 編修の趣旨及び留意点

家庭科ならではの、日々の暮らしに直結した視点から、生活に関するさまざまな知識や技能に加え、自分の生活を見直し、改善する態度や能力が身につくよう編修しています。資料は、教育基本法に示されている自主・自律の精神や、自他の敬愛、公共の精神、生命を尊ぶ心などを育てることができるよう留意して選択しました。

2. 編修の基本方針

高校生が、日々の生活のなかから課題を見つけ、その解決のために必要な知識と技術を身につけることができるよう留意して編修しました。高校生というライフステージを考え、職業観・結婚観・家族観など自分なりの価値観を見つけるヒントとなる、多くの資料を掲載してサポートしています。

和食や和紙のユネスコ無形文化遺産登録、2020年に控える東京オリンピックと、日本文化に対する理解が問われる機会が増えていると考えました。また、自らの留学や留学生の受け入れにより、海外の人とふれ合う機会の増える高校生も多くなっている現状を考慮し、日本の文化に興味を持つきっかけとなる、さまざまな資料を掲載しています。

図表や写真を見やすく掲載するため、本文脇の側注スペースを広げました。これにより、側注スペースにも資料を入れることができ、より深い学習が可能になりました。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 青年期と家族 ①これからの人生に向かって ②家族って何だろう？	<ul style="list-style-type: none">・日本の雇用環境や、男女共同参画に向けた日本の取り組み、ワーク・ライフ・バランスなどについて、基礎をしっかりと扱い、青年期に考えるべき職業観を養うための工夫をしています（第2号、第3号）。・ライフステージや家族について考えさせる内容を多く掲載し、暗記型ではない、人生を見通すための知識を得ることができるように工夫しています（第1号）。	10頁考えてみよう、15頁、16頁など。 6頁、12頁、17頁コラムなど。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>第2章 保育</p> <p>①子どもの成長を見つめる</p> <p>②子どもの世話をしてみよう</p> <p>③子どもを取り巻く環境</p>	<p>・新しく生まれる生命を身近に感じ、新生児の小ささを実感することができるように、等身大の赤ちゃんの写真や、ひとりの子どもの成長を追った月齢・年齢別の写真などを掲載しました（第4号）。</p> <p>・これから子育てを支える世代になっていく高校生が、保育に関わるさまざまな問題について自分のこととして考えられるように、表現に留意しています（第3号）。</p> <p>・世界の子どもたちの現状について考えることができる資料をまとめました（第5号）。</p>	<p>24、25 頁折込。</p> <p>38 頁、39 頁資料、40 頁資料など。</p> <p>44 頁資料。</p>
<p>第3章 高齢期</p> <p>①高齢期ってどういう時期？</p> <p>②高齢化する日本を生きる</p> <p>③高齢者を支える</p>	<p>・現在の日本が直面している、超高齢化についての正しい知識を身につけ、これからの福祉を維持していくためには、私たちが主体的に社会の形成に参画することが大切であると意識できるように構成しています（第3号）。</p> <p>・今の生活が、歳をとってからの健康の基礎になることを意識させ、健康のために今からできることを考えられるよう工夫しました（第1号）。</p>	<p>50 頁、51 頁コラム、55 頁など。</p> <p>47 頁コラムなど。</p>
<p>第4章 食生活</p> <p>①食生活を見つめよう</p> <p>②私たちが食べているもの</p> <p>③安全・安心な食品を選ぼう</p> <p>④献立と調理</p>	<p>・食事の機能や、各世代に必要な栄養の特徴を知ること、どのような食生活を送れば、健やかな身体を維持していくことができるのかなどを考えることができるよう、構成を工夫しています（第1号）。</p> <p>・身近な食にかかわる実験を数多く掲載することで、生徒の好奇心を引き出し、自主的な学習を促します（第2号）。</p> <p>・ユネスコ無形文化遺産に登録された和食を中心に、さまざまな伝統食を扱いました。生命を尊び、食卓に四季を取り入れてきた古くからの知恵を知り、日本の優れた文化を再認識することができます（第4号、第5号）。</p>	<p>58 頁、62 頁、86 頁資料 A など。</p> <p>72 頁、76 頁、77 頁 TRY など。</p> <p>92 頁伝統、93 頁、108 頁課題研究など。</p>
<p>第5章 衣生活</p> <p>①なぜ服を着るの？</p> <p>②私たちが着ているもの</p> <p>③衣服の管理を学ぼう</p> <p>④これからの衣生活</p>	<p>・日々の健やかな生活のために必要な、衣服の入手、洗濯、手入れ、着用の仕方に至るまでの基礎知識を、丁寧に解説しました（第2号）。</p> <p>・日本の伝統的な衣服について扱うことで、私たちの生活に根付いている日本人の心を感じることができるように工夫しました（第5号）。</p>	<p>119 頁、120 頁、126 頁資料など。</p> <p>113 頁、116 頁伝統など。</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第6章 住生活 ①人と住まい ②住まいの空間と構成 ③住まいと安全 ④住まいと社会 ⑤住まいと環境	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土を盛り上げる活動を行っている、同年代の高校生の例を挙げることで、まちづくりに参加する具体的なイメージを示しました。社会の一員としての自覚を持ち、積極的に地域にかかわる意識の基礎をつくります（第3号）。 ・これからの環境を考えた建物にはどのようなものがあるのか、実際の例を挙げることで、持続可能な発展について意識できるよう工夫しました（第4号）。 ・日本の風土に合わせて発展してきた日本の住居の知恵について知ることで、日本文化への理解を深めます（第5号）。 	147 頁コラムなど。 152 頁課題研究。 145 頁伝統など。
第7章 消費生活 ①何をどうやって買う？ ②自立した消費者とは？ ③暮らしを社会につなげる	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の扱い方、意思決定の方法、クレジットカードのしくみなど、情報化時代で自立するために必要な内容を多く取扱っています（第2号）。 ・経済と家計の関係を扱うなど、社会の一員としての自覚が持てる内容を重視しました（第2号）。 ・私たちの生活と環境のかかわりを理解するため、エシカル消費や持続可能な消費のあり方についてわかりやすく解説しています（第3号）。 ・持続可能な社会の重要性を実感できるよう、現在問題となっているさまざまな環境問題と、そのための法制度について扱っています（第4号）。 	156 頁、157 頁資料、162 頁、163 頁など。 166 頁、174 頁コラムなど。 174 頁コラム、175 頁資料・コラムなど。 242 頁、245 頁など。
第8章 生活設計 ①目標をもって生きよう！ ②人とかかわって生きる ③持続可能な社会をめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・未来に向かって人生の目標を自主的に選択していけるよう、さまざまな生活資源について扱いました（第2号）。 ・共生社会の視点から社会参加について扱い、社会の一員として何ができるのか考えられるように工夫しています（第3号）。 	235 頁、236 頁など。 240 頁、241 頁など。

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

誰にでも読みやすく、親しみやすい教科書を目指し、ユニバーサルデザインフォントと、ユニバーサルデザインカラーを使用してデザインを行いました。図表などでも、色弱の方に見えづらくなるよう配慮し、隣り合う色同士の並びを工夫しました。また、弱視の方に視認性が高いゴシック体を本文に用いる工夫もしています。

編集趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
27-71	高等学校	家庭	家庭基礎	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
06 教図	家基 312	新 家庭基礎 今を学び 未来を描き 暮らしをつくる		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●「人生の解説書」を目指す

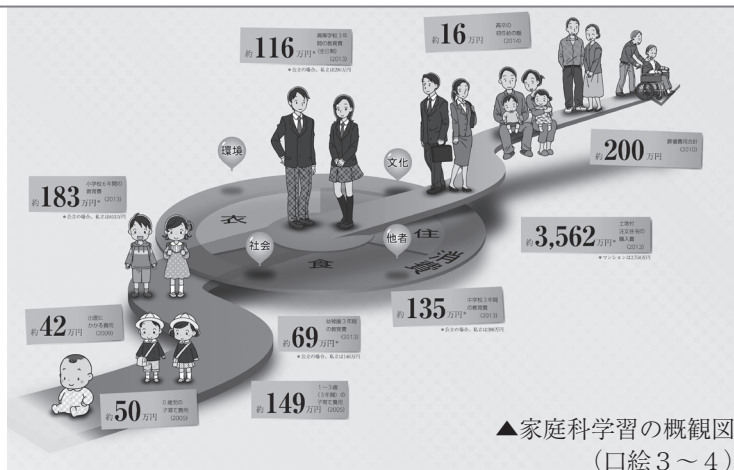
本書を「人生の解説書」と位置付けました。身の回りの生活を再認識し、人生を見通し、自分なりの価値観を築くことができるようになることを目標に、資料やコラムなどを選定しました。また、暗記型の学習にならないよう、自ら考えたり、実験したりできる内容（「TRY！」「考えてみよう！」）を多く掲載しています。学習の進行に応じて活用できる資料や、日本の伝統に触れる内容（「伝統」）、学習を深めるコラム（「Column」）も豊富に掲載しています。



▲「TRY！」「考えてみよう！」「資料」「伝統」「Column」はアイコンを変え、一目でわかるように工夫しています。

●家庭科学習を見通す口絵

口絵で、家庭科学習を見通すための漫画と概観図（右図）を用いました。概観図では、家庭科の学習に必要なである、**今生活している空間**を見つめる視点と、これまで生きてきて、**これから成長していく時間の両方**を示しました。また、口絵には各ライフステージにかかるお金を示し、生活設計の大切さを実感できるつくりになっています。



●ユニバーサルデザインに配慮した教科書

誰にとっても読みやすく、親しみやすい教科書を目指し、弱視の方に視認性が高い**ゴシック体**を本文に用いる工夫をしています。また、**ユニバーサルデザインフォント**と、**ユニバーサルデザインカラー**を使用しました。図表などにおいては、色弱の方に見えづらくなならないよう配慮し、隣り合う色同士の並びを工夫しました。

図表や写真をより見やすくするため、本文脇の側注スペースを広げました。これにより、側注スペースにも余裕をもって資料を入れることができ、**豊富な資料**による深い学習が可能になりました。

●編修における5つのテーマ

本書では、「健康・安全」「持続可能性」「伝統」「共生」「自立」という5つのテーマを設定しています。各章の扉では、これら5つの視点に立った身近な問いかけを行いました。問いかけについて考えるヒントは、必ず各領域のなかで学習できる仕組みになっています。

食・衣・住・消費各分野では、**ライフサイクルアセスメント (LCA)** の考え方を徹底しました。口絵では「もの」が私たちのもとへ届くまで」として、普段なかなか目にする機会がない、食・衣・住にかかわるものの、原料から手元へ届くまでの手順を追いました。

身の周りにあるものの背景について学ぶことで、持続可能性について考える機会を提供します。



▲各章扉の問いかけ (p.5)



▲LCAの視点を大切に (口絵5~7)

●実感を伴う教科書

学習の内容を、できるだけ実感を伴って理解できるように、簡単にできる実験を数多く提案したり、実際の生活とつなげる資料を掲載したり、さまざまな工夫をしています。

異なる世代に対する理解を深めるため、「保育」領域においては、等身大の赤ちゃん写真を掲載し、生徒のイメージを強めます。また、ひとりの子どもの成長を追った写真を載せ、成長のスピードがわかりやすいように工夫しています。「高齢者」領域においては、実際の高齢者のインタビューを扱うなど、異なる世代を身近に感じることができるよう工夫しています。

TRY! 糖化と消化の実験をしてみよう

①糖化の様子を観察する
ガラスの器に片栗粉を入れ、熱湯を同量ほど加えてスプーンでよく混ぜると、粘りが出て固くなっていく。

②消化の様子を観察する
①でできた糊化でんぷんに、ジアスターゼ (アミラーゼ) 入りの胃腸薬を粉にして加えてかき混ぜると、サラサラになっていく。ジアスターゼは、だ液の酵素であり、消化のしくみ (※p.115) と同じである。

※実際のだ液を使っても同じ効果が出る。

TRY! バイナップルのたんぱく質分解酵素

パイナップルにプロテインという酵素が多く含まれる。たんぱく質を分解する働きがあるこの酵素を利用して、調理前に固い肉をパイナップルのすりおろしたものに漬けておくこともある。動物性のたんぱく質を主成分とするゼラチンを使ってパイナップルの酵素の働きを確かめてみよう!

【材料】ゼラチン (市販)、ジュース (色を付けるため)
容器、生のパイナップル

①パイナップルを角切りにし、半分を十分に煮ておく。
②市販のゼラチンを、説明書通りの量で溶かし、ジュースを加えて混ぜる。
③②でつくった液を2つの容器に入れて、ひとつに生のパイナップル、もうひとつに加熱したパイナップルをたっぷり入れて冷蔵庫で固まるまで待つ。
④できあがったゼリーを見ると、生のパイナップルを入れたゼリーは固まっていないのがわかる。

※酵素は高温で活性を失ってしまう (失活) ため、生のパイナップルを使う必要がある。
※そのほか、キウイやパパイヤなどのくだものでも同様の効果が得られる。

▲身近な材料で簡単にできる実験が豊富 (p.72、77)

子どもの成長を見よう!

<p>1~2か月頃</p> <p>身長: 51.0cm 体重: 3.5kg 頭囲: 33.0cm</p> <p>乳歯: 0本 乳歯生え始め: 0本</p> <p>【生活の様子】</p> <p>【成長の指標】</p>	<p>3~4か月頃</p> <p>身長: 61.0cm 体重: 6.0kg 頭囲: 40.0cm</p> <p>乳歯: 4本 乳歯生え始め: 2本</p> <p>【生活の様子】</p> <p>【成長の指標】</p>	<p>5~6か月頃</p> <p>身長: 73.0cm 体重: 8.0kg 頭囲: 45.0cm</p> <p>乳歯: 6本 乳歯生え始め: 4本</p> <p>【生活の様子】</p> <p>【成長の指標】</p>	<p>7~8か月頃</p> <p>身長: 80.0cm 体重: 9.0kg 頭囲: 47.0cm</p> <p>乳歯: 8本 乳歯生え始め: 6本</p> <p>【生活の様子】</p> <p>【成長の指標】</p>	<p>9~10か月頃</p> <p>身長: 87.0cm 体重: 10.0kg 頭囲: 48.0cm</p> <p>乳歯: 10本 乳歯生え始め: 8本</p> <p>【生活の様子】</p> <p>【成長の指標】</p>	<p>10~11か月頃</p> <p>身長: 93.0cm 体重: 11.0kg 頭囲: 49.0cm</p> <p>乳歯: 12本 乳歯生え始め: 10本</p> <p>【生活の様子】</p> <p>【成長の指標】</p>
<p>1~1歳3か月頃</p> <p>身長: 93.0cm 体重: 12.0kg 頭囲: 50.0cm</p> <p>乳歯: 14本 乳歯生え始め: 12本</p> <p>【生活の様子】</p> <p>【成長の指標】</p>	<p>2歳頃</p> <p>身長: 103.0cm 体重: 14.0kg 頭囲: 51.0cm</p> <p>乳歯: 16本 乳歯生え始め: 14本</p> <p>【生活の様子】</p> <p>【成長の指標】</p>	<p>3歳頃</p> <p>身長: 113.0cm 体重: 16.0kg 頭囲: 52.0cm</p> <p>乳歯: 18本 乳歯生え始め: 16本</p> <p>【生活の様子】</p> <p>【成長の指標】</p>	<p>4歳頃</p> <p>身長: 123.0cm 体重: 18.0kg 頭囲: 53.0cm</p> <p>乳歯: 20本 乳歯生え始め: 18本</p> <p>【生活の様子】</p> <p>【成長の指標】</p>	<p>5歳頃</p> <p>身長: 133.0cm 体重: 20.0kg 頭囲: 54.0cm</p> <p>乳歯: 22本 乳歯生え始め: 20本</p> <p>【生活の様子】</p> <p>【成長の指標】</p>	<p>6歳頃</p> <p>身長: 143.0cm 体重: 22.0kg 頭囲: 55.0cm</p> <p>乳歯: 24本 乳歯生え始め: 22本</p> <p>【生活の様子】</p> <p>【成長の指標】</p>

▲ひとりの成長を追った資料で成長のスピードを実感 (折込)

●自立と共生を促す教科書

学習を通して、自分なりの課題を見つけて解決できるように知識を充実させています。食・衣・住・消費生活領域においては、日々の生活を見つめ、自ら行動に移せるように考えて編集しています。家族・保育・高齢者領域では、それぞれを支える社会の仕組みについて丁寧に扱うことで、私たちの生活が社会とつながっていることを意識できるように編集しています。これらの学習を重ねることで自立と共生の大切さについて実感できます。

これから情報化時代を生きていく高校生のために、生活情報の読み解き方、意思決定の方法、クレジットカード利用の注意点などを具体的に掲載しています。

▶生活情報のひとつとして、さまざまなマークを扱いました (p.176)



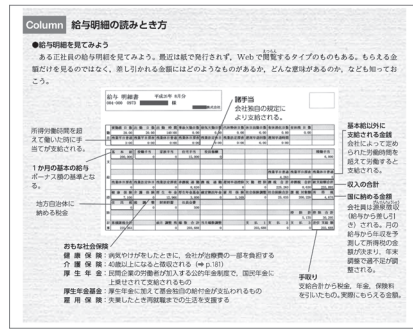
●職業観を身につける教科書

日本の雇用環境や、男女共同参画に向けた日本の取り組み、ワーク・ライフ・バランスなどについて基礎をしっかりと扱っています。これから社会に出て行く高校生に、職業について考えるきっかけを与えることで、青年期に考えるべき職業観を養う工夫をしています。

また、実際に働きはじめたときを想定して給与明細の一例を挙げ、読みとき方を掲載しました。社会保険を支払う意味などについて考えることができます。



▲ワーク・ライフ・バランスについてじっくりと解説 (p.16)



▲給与明細の一例を紹介 (p.169)

●伝統に触れる教科書

和食・和紙がユネスコの無形文化遺産に登録され、東京オリンピックを2020年に控えて注目されている日本文化について、生活文化を扱う家庭科ならではの視点で扱うように留意しました。特に、食・衣・住については、四季や気候風土、文化などとの関連性を紹介し、先人の知恵について考えることができるように工夫しました。実際の写真を使って、視覚的に理解することができます。



▲季節の行事食 (p.60)



▲日本の住居の工夫 (p.145)

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
家庭科を学ぼう		口絵1 - 4	1
第1章 青年期と家族 ①これからの人生に向かって ②家族って何だろう？	(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 ア 青年期の自立と家族・家庭	5 - 20 頁	6
第2章 保育 ①子どもの成長を見つめる ②子どもの世話をしてみよう ③子どもを取り巻く環境	(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 イ 子どもの発達と保育 エ 共生社会と福祉	21 - 44 頁	8
第3章 高齢者 ①高齢期ってどういう時期？ ②高齢化する日本を生きる ③高齢者を支える	(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 ウ 高齢期の生活 エ 共生社会と福祉	45 - 56 頁	5
第4章 食生活 ①食生活を見つめよう ②私たちが食べているもの ③安全・安心な食品を選ぼう ④献立と調理	(2) 生活の自立及び消費と環境 ア 食事と健康	57 - 108 頁	18
第5章 衣生活 ①なぜ服を着るの？ ②私たちが着ているもの ③衣服を管理してみよう ④これからの衣生活	(2) 生活の自立及び消費と環境 イ 被服管理と着装	109 - 132 頁	8

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配 当 時 数
第6章 住生活 ①私たちが暮らす場所 ②安心・安全な暮らし ③つながって暮らす ④これからの住まいを考える ⑤住まいと環境	(2) 生活の自立及び消費と環境 ウ 住居と住環境	133-152 頁	7
第7章 消費生活・環境 ①何をどうやって買う？ ②かしこい消費者になろう ③暮らしと経済のかかわり ④環境について考えよう	(2) 生活の自立及び消費と環境 エ 消費生活と生涯を見通した 経済の計画 オ ライフスタイルと環境	153-176 頁	9
第8章 生活設計 ①目標をもって生きよう！	(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉 エ 共生社会と福祉 (2) 生活の自立及び消費と環境 カ 生涯の生活設計	177-185 頁	5
学んだことを実生活にいかす ・ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動	(6) ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動	186-189 頁	3
計			70

